

## 特 集

# 誠実是人なり

高 橋 和 恵

## 1. はじめに

このたび定年退職を迎えられること誠におめでとうございます。

いつも精力的に教育に取り組んでいた蛭川先生が、もう定年退職を迎えるとは正直驚きを隠せません。ささやかではございますが、感謝と敬意を込めて先生との思い出を寄稿させていただきます。

## 2. 蛭川先生との出会い

蛭川先生との出会いは、大学1年次の教職教養の講義でした。高3の6月の三者面談の際、就職希望から4大進学へ進路変更をし、教員になりたいと相談したところ蛭川先生のことを教えていただきました。大学入学後、シラバスに先生のお名前を拝見し講義終了後に声をかけました。商業高校出身で高校の教員になりたいという内容を先生にお伝えしたところ、教員採用試験の勉強会に誘われました。当時の私は、大学生活を満喫したいという気持ちが強くお誘いいただいたのにも拘らず足を運ぶことはありませんでした。講義の中で先生は、教員の仕事の楽しさ、喜びや大変さをご自身の経験を踏まえてお話して頂きました。自分が求める教師像＝蛭川先生という形が徐々に出来てきました。

## 3. 蛭川ゼミ

私が在学していた頃、世の中は就職氷河期で民

間企業だけでなく教員採用も大変厳しい状況でした。そのような状況下で蛭川ゼミ出身の先輩が、埼玉県の高専商業で2名合格されたことを知りました。当時（2000年）の埼玉県高校の倍率は約22倍で、商業においては3名しか合格せず狭き門でした。教員になるためには蛭川先生の元で勉強することが一番の近道であると思い、蛭川ゼミを選びました。ゼミでは教育に関する事柄だけでなく、社会人として必要な礼儀やマナーを厳しく指導していただきました。先生は講義中、鋭い質問をされ学生が曖昧な答えをすると厳しく追及なされ、いつも講義中はピリピリと張りつめた緊張感がありました。しかし、プライベートでは学生に混ざって飲み会に参加し気さくな人柄で学生に大変人気でした。誰に対しても誠実で謙虚な先生のお姿は、ゼミ生にとって模範となるものでした。

## 4. 教職ゼミ

大学卒業後、先生に誘われ教員採用試験に向けた勉強会に参加していました。校種、教科に係らず現役の学生や卒業生たちが土曜日の午後集まり、先生のご指導を受けていました。その頃、埼玉県高専商業の採用試験は教職ゼミ出身者が毎年合格しており、試験会場で城西大出身だとわかると、どういう勉強をおこなっているのか頻繁に聞かれました。特別な勉強方法はなく、主に教員としての在り方、どういう教員になりたいかを常に聞われました。知識や技術は独学で身につけることが可能ですが、教育者として人を育てるために一番重要な豊かな人間性を先生に育てて頂きまし

た。

## 5. 最後に

これまで先生に教えて頂いたことを胸に深く刻み、先生のこれからのますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。